

## ふれあい茨城



## 平成 24 年度、茨城県留学生親善大使が決まりました。

茨城県国際交流協会では、県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、母国の社会や文化を紹介し交流することにより、県民の国際理解を推進しています。

今年度は、21ヶ国 82名の留学生が親善大使として6月30日(土)に任命されます。親善大使の皆さんは、その後、県内の小・中学校や高校、生涯学習の場で母国の文化紹介等を行う「ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業」を中心に活動します。昨年度の実施校からも「文化の違いがわかって大変貴重な体験でした」等の嬉しい感想が寄せられました。今年度も活躍が期待されます。

また、7月8日(日)には、親善大使を対象にクエスト茨城留学生研修を実施します。このツアーは、県内の公共施設や企業等を訪問研修することを通じて、茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送れるよう、毎年2回実施されています。今回は、アクアワールド茨城県大洗水族館、かねふくめんたいパーク、有限会社黒澤醤油店(ひたちなか市)を訪問する予定です。今年度も多くの留学生が参加し、茨城の魅力を再発見してくれることを期待しています。

留学生親善大使をはじめとする各国事情紹介講師については、当協会ホームページ内の「多文化共生サポーターバンク ([http://www.ia-ibaraki.or.jp/s\\_bank](http://www.ia-ibaraki.or.jp/s_bank))」で検索できます。国際理解・国際交流活動を実施する際に是非ご活用ください。



ワールドキャラバン風景



## 世界文化セミナー



茨城県国際交流協会では、世界の社会問題や文化について英語で話し合う「世界文化セミナー」講座を開催しています。毎年、春と秋の2回に分けて行っており、今年の春期セミナーは4月5日から7月21日までの期間で実施しています。

セミナーは木曜と土曜の2クラス体制で、フランス出身の国際交流員オレリー・ノエルとゲスト講師を中心に、毎回様々なテーマで進めています。今期は、これまでにマレーシアの多文化共生や南アフリカでの格差問題・ボランティア経験をテーマにしたクラスを行いました。大変ご好評をいただいている講座です。英語でのディスカッション能力を高めたい方、社会問題に興味がおありの方、秋期セミナーもありますので、是非ご参加ください。



## 公益財団法人移行について

茨城県国際交流協会は公益財団法人に生まれ変わりました。

当協会はこの度、平成24年4月1日付けで公益財団法人へと移行し、「公益財団法人茨城県国際交流協会」として新たな一歩をスタートいたしました。

今後は、県民の皆様とともに多文化共生社会の実現を目指し、世界に開かれた茨城づくりを推進するため、公益の名にふさわしい事業を展開してまいります。

皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公益財団法人  
茨城県国際交流協会  
理事長 川俣 勝慶

## CONTENTS

p1	協会事業	●平成24年度、留学生親善大使が決まりました
		●世界文化セミナー ●公益財団法人移行について
p2~3	Global View 21	●特集：中央アジア諸国
p4	交流の広場	●日立国際交流協議会 ●社団法人霞ヶ浦市民協会
p5	Young Eyes	●鹿島学園高等学校
	Across Culture	●おかしくはない、ただ違っているだけなんだ(インドネシア編)
p6	Doing Business	●エンジェル クリストファーさん(独立行政法人日本原子力研究開発機構)
	県だより	●茨城県知事公室女性青少年課
p7	For You	●お知らせ
p8	Topics	●平成24年度事業計画

# GLOBAL VIEW 21

## 特集：中央アジア諸国

中央アジア諸国 5 カ国（カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン）の場所はユーラシア大陸のほぼ中央部、カスピ海の東側に位置します。かつて中国と地中海世界を結ぶ交易路＝シルクロードと言えば、私たちのこの地域へのイメージを表すもののひとつとなっています。この地域は経済的にはエネルギー資源（石油・天然ガス）及びレアメタル等の天然資源が豊富で期待されています。



中央アジア諸国概要

国名	面積(日本との比較)	人口(2011年: 国連人口基金)	首都	言語
ウズベキスタン共和国	1.2倍	2,780万人	タシケント	ウズベク語(ロシア語も広く使用されている)
カザフスタン共和国	7倍	1,602万人	アスタナ	カザフ語(ロシア語は公用語)
キルギス共和国	約2分の1	540万人	ビシュケク	キルギス語(ロシア語は公用語)
タジキスタン共和国	約40%	700万人	ドゥシャンベ	タジク語(ロシア語も広く使用されている)
トルクメニスタン	1.3倍	510万人	アシガバット	トルクメン語(ロシア語も広く使用されている)

## 筑波大学 中央アジア事務所の取り組み



中央アジア事務所長  
臼山利信博士

筑波大学ではウズベキスタン共和国タシケント市のタシケント国立東洋学大学内に、海外拠点「筑波大学中央アジア事務所」を設置し、学生・研究者の交流を積極的に推進されています。今回は所長としてご活躍されている臼山利信博士にインタビューさせていただきました。

### \* 中央アジアに海外拠点を開設した背景、役割、外交関係樹立 20 周年への交流事業などをお聞かせください。

1991 年のソ連崩壊から約 10 年が経過し、落ち着きを見えてきた頃、旧ソ連諸国との交流開始の気運が高まってきました。ソ連時代には係わりが薄く、見えにくかった中央アジアには未開拓の研究対象が数多くありました。また日本とは過去に戦争をした歴史も無く親日的な国が多く、日本はアジアの中で成功した国として敬意・あこがれの対象ともなっていますし、アジア人としてのメンタリティーも似ています。このような背景をもとに中央アジアにおける世界的な研究拠点を形成する事を目的とし、2007 年に中央アジアの交通の要所であるウズベキスタン、タシケントに「筑波大学中央アジア国際連携センター」が開設されました。

事務所の役割は、①筑波大学と中央アジアの諸大学・研究機関との幅広い学術教育交流、②日本の中央アジア研究及び中央アジアの日本研究の振興への貢献、③日本と中央アジア諸国の文化的信頼醸成への一助、という三つの目的に沿って拠点事業を大きく展開する事にあります。今後、現在 5 カ国、9 大学間交流協定

2012 年は日本と中央アジア・コーカサス諸国との外交関係樹立 20 周年です。茨城県には現在これらの地域から約 90 人の外国人登録数があり、その過半数は筑波大学で学ぶ中央アジアからの留学生です。今回は特に中央アジアに焦点を当て、筑波大学の中央アジア学術・教育交流について伺うと共に、留学生からそれぞれの母国についてご紹介します。

のネットワークをさらに拡大し、本学の学生と中央アジアの学生が頻繁に行き来し学びあう中で、有為なグローバル人材として成長し活躍できるような支援体制を強化する方針です。

20 周年への交流事業も具体的に進めており、この 2 月にはウズベキスタン女性自立支援事業としてアトラスという伝統的絹織物のハンディクラフトコンテストを開催、また 3 月には学術交流としてウズベキスタンにて国際会議が開かれました。また 10 月にはカザフスタンと日本の学生の学術会議も予定されています。

### \* 筑波大学に集まる中央アジアからの留学生についてお聞かせください。

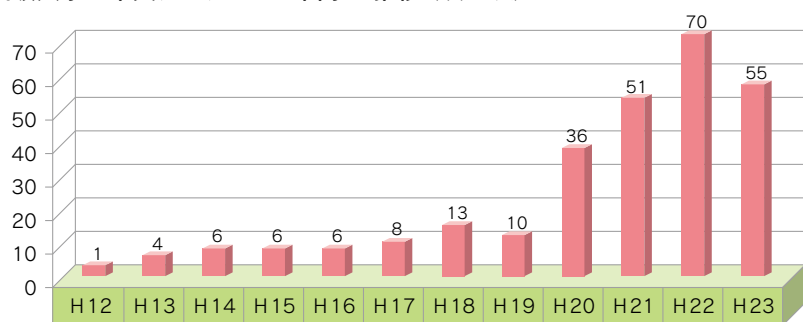
9 大学との協定もあり、筑波大学で学ぶことを目指す学生は多く、2011 年度で中央アジアからは 55 名の留学生を受け入れています。国費、及び大学間協定での交換留学生が多く、学費の支援、また奨学金支援を受けながら学んでいます。現地での日本熱の高さは先ほども話した通りで、日本に直接触れる事によって日本語・日本研究などに打ち込んでいます。留学中の単位認定も大学間の裁量によってなされています。

### \* 中央アジアからの留学生に期待する事をお聞かせください。

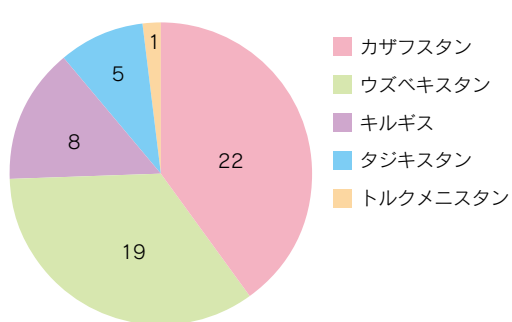
日本に来られる留学生は現地名門大学からの優秀な学生ばかりです。将来には各国の政府、文化交流団体、企業などを代表するような、世界で活躍する人材になってほしいと思っています。現に大統領府で活躍している人材もいます。国を背負って立つと共に、日本との交流の架け橋ともなる親善文化大使というような役割も果たすくらいの意識を持ち、将来に進んでほしいと期待しています。



筑波大学ー中央アジアからの留学生推移 (単位: 人)



H23年度ー国別中央アジアからの留学生 (単位: 人)



## 留学生の皆さんの母国を紹介していただきました

現在、筑波大学で研究をしている留学生の皆さんにお集まりいただき、それぞれの国についてお話を伺いました。

- ①あなたの国を紹介してください。
- ②あなたの国では日本のことをどう思っていますか。
- ③ひとことアピールをお願いします。



### ソコロバ・マリアさん

カザフスタン出身  
人文文化学群専攻  
昨年9月来日、留学期間1年



- ①カザフスタンは自然が美しい国です。天山山脈が国境地域にそびえ、とても景色がきれいですよ。人々はおおらかで広い心を持ち、気前が良く、客をもてなす心を持っています。2011年にはアスタナ、アルマトイで冬期アジア大会が開催されました。地理的には北にロシアが隣接しており、文化的にはロシアとカザフスタンが入り交じっています。民族的にはカザフ系が約60%、ロシア系が30%、ウズベク系、ウクライナ系、ウイグル系と多民族国家です。私たちはカザフスタンをアジアでもヨーロッパでも無く、ユーラシア国家と呼んでいます。
- ②日本はアニメ、漫画の国で日本人はその主人公のように見えます。ナルト、ポケモン、セーラームーンは特に有名です。カザフスタンから見て、日本は経済発展で成功した国として良いイメージを持たれています。
- ③カザフスタンはこれからもっともっと発展していきます。カザフスタンの人々の心は自然と同じく非常にオープンです。日本との交流がこれからも進んでいく事を希望しますし、チャンスがあれば、是非カザフスタンを見に来てほしいです。

### アリモフ・オキリッディンさん

ウズベキスタン出身  
人文社会科学研究科国際地域研究専攻  
昨年9月来日、留学期間1年



- ①ウズベキスタンはシルクロードの交差点として歴史と文化の大国です。ブハラ、サマルカンドなど世界遺産、歴史的な文化遺産も多く、タシケントは今も昔も変わらず中央アジアの交通の要となっています。これらの町は国外からの観光客を多く引きつけており、国の魅力のひとつとなっています。
- ②ウズベキスタンと日本は共に文化・伝統を大事にする国です。日本人はとても家族を大切にする国民です。生活様式、メンタリティーも似ており共通の価値観を持つ国として親近感があります。お互いに関心を持っているのです。2001年にはタシケントに日本庭園が開園し、1,000本の桜が植樹され、国でも最も愛されている公園の一つとなっています。あまりに美しいので新婚の若いカップルは必ずこの日本庭園を訪れ記念写真を撮るほどなんです。
- ③日本とウズベキスタンは外交上も戦略的パートナーです。日本は経済大国でウズベキスタンが独立以後、常に支援してくれており、我々は日本に敬意を抱いています。昨年は大きな災害もあり、大変な時期であると思いますが、将来日本人の皆さん全員が幸せになってほしいと思っています。

### エセナリエワ・アイグリアさん

キルギス出身  
人文社会科学研究科国際地域研究専攻  
昨年9月来日、留学期間1年



- ①キルギスは自然に恵まれた山国です。イシククリ湖という透明度の非常に高い美しい湖があり、有名でここにはロシア中からバカンスに訪れます。遊牧民族としての生活感が未だ残っていて、夏には別荘感覚にて昔のテント（ロシア語でユルタ、キルギス語でボズユと言います）生活を楽しみます。飲み物では昔からの馬との係わりからクメスという馬乳酒が有名です。健康にとっても良く夏ばて予防、また治療薬としても使われています。
- ②アニメ・漫画が人気があるのと同様、伝統文化として空手も有名です。私の兄は空手のマスターなんです。中央アジア全体では「日本文化の日」が設けられており、みんな日本に対しては良いイメージを持っていると思います。
- ③以前から日本で勉強をしたかったので、日本語コースがあつて良かったです。教育制度面では、キルギスでは履修科目に選択の余地が無いのですが、日本では履修したい科目を自由に選択ができるので非常に良いと思います。キルギスの人はみんな一度は日本を見てみたいと感じています。日本の人々も是非そうであってほしいと思います。一度イシククリ湖を見に来てください。

### アクラムダ・ザミーラさん

タジキスタン出身  
人文社会科学研究科国際地域研究専攻  
昨年9月来日、留学期間1年



- ①タジキスタンでは文化・伝統を大事にし、生活します。祝日には民族衣装を着て祝うという習慣があります。中央アジアでは他の国も同様ですが、ナウルズ祭という日本の旧正月のような祭りが3月21日にあり、春の喜びにつまれる日となります。国土の90%は山岳地帯で、山の美しさは語り尽くせません。タジクの人々の心は豊かで、親切、客を家族のようにもてなす心には感銘を受ける事と思います。古代ソグド人の町、ペンジケントなど歴史・文化遺産も魅力です。
- ②日本は日のいずる国のイメージです。伝統を重んじる国で茶道・生け花・折り紙などの文化が有名で、また相撲、桜のイメージもあります。最近では他の国と同様10代にはアニメが大人気となっています。
- ③お互いの国同士、イメージで感じるだけでなく、実際に見て、五感で感じてほしい。特に青少年の交流がもっと頻繁に行われれば良いと思います。日本の若い人たちに是非タジキスタンを見に来てほしいです。私たちはいつでも待っています。

# 交流のひろば

## 姉妹都市との絆

### 日立国際交流協議会

日立国際交流協議会は、1981年10月に「姉妹都市提携協議会」としてスタートしました。国際親善姉妹都市であるバーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）及びタウランガ市（ニュージーランド）との交流による信頼関係の構築は、発足当初から協議会活動の中心的な柱となっています。

日立市は、今年4月、バーミングハム市との姉妹都市提携30周年を迎えました。

姉妹都市交流の歴史とともに活動を続けてきた当協議会においても、これまで積み重ねてきた交流の重みや国際交流の一端を担えたことへの誇りを強く感じています。

昨年の東日本大震災時には、姉妹都市からたくさんの寄付金や心温まる応援メッセージ等が寄せられました。国境を越えた絆とともに、多くの困難を乗り越えたことは、次の活動へ繋がる大きな力になっています。

協議会では、日立市民の感謝の想いを伝えようと、姉妹都市交流事業の一つである「フレンドシップ・キルト展」において、来場者が日立市の花「さくら」の花びらに見立てた小さな布を縫い付け、大きなキルト作品を作る「さくらプロジェクト」を実施し、完成作品を姉妹都市に贈りました。桜の花びらで富士山とハートを表したキルト作りには、日立市長をはじめ

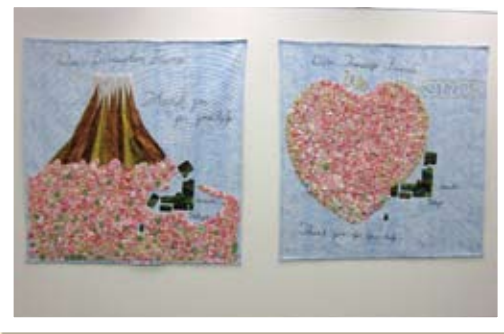
多くの市民が参加し、市民の想いと元気な姿が伝わるような素敵な作品が完成しました。後日、両市からは、喜びの声が届き、交流する素晴らしさを感じることができました。

現在、協議会は、姉妹都市との交流を中心に、在住外国人支援や多文化共生の実現に向けた事業を幅広く展開しています。これら全ての事業への取組に際しては、お互いを理解し、相手を思いやる気持ちが大切であるという原点を忘れずに活動しています。

今後とも、これまで培ってきた信頼関係を基盤とし、多角的な視野を持って、成長しながら歩んでいきたいと思います。



キルト展会場の様子



姉妹都市に贈ったキルト作品



いばらき霞ヶ浦賞授賞式（2003年 米国・シカゴ）

第1回世界湖沼会議は1984年に琵琶湖畔の滋賀県大津市で開催されて以来、世界各地で開催されてきました。その目的は、貴重な淡水資源である湖沼が富栄養化、水位低下、土砂堆積、化学物質汚染、生態系の劣化など様々な問題を抱えていることから、専門家、行政、市民が情報や経験を交換し、持続的な利用に向けて方策を話し合うことです。霞ヶ浦では1995年に第6回会議が行なわれ、土浦市とつくば市を会場に、外国人約600人を含む約8,200人が参加しました。この時採択された「霞ヶ浦宣言」では、市民、研究者、行政、企業のパートナーシップで、湖沼の環境問題に取り組むことが謳われました。この精神を継承し、益々市民活動を盛り上げるために、社団法人霞ヶ浦市民協会が設立されました。

その後、世界湖沼会議は、アルゼンチン、デンマーク、米国シカゴ、ケニア、インド、中国、そして2011年には、米国テキサス州都オースチンで開催されてきました。（社）霞ヶ浦市民協会の会員は毎回参加し、その後の霞ヶ浦の環境問題の現状や市民活動の成果を発表し、世界各国からの参加者と交流し、意見交換し、海外の湖沼問題の事例を学んでき

## 世界湖沼会議と社団法人霞ヶ浦市民協会

社団法人霞ヶ浦市民協会 研究顧問 沼澤 篤

ました。また茨城県は、第6回の霞ヶ浦での開催を記念し、発展途上国の有望な研究者の世界湖沼会議での発表を促進するために、「いばらき霞ヶ浦賞」を創設しました。この賞は、これまで27カ国99人の研究者に授与され、本県の国際貢献を果たしてきました。その受賞式には（社）霞ヶ浦市民協会会員も出席し、受賞者を祝福し交流を深めました。

霞ヶ浦の環境問題は、アオコ発生に象徴される傾向がありますが、それだけでなく、様々な要因が複雑に絡み合っており、流域管理を始めとして総合的に取り組むべき課題となっています。霞ヶ浦は平野部に位置する広く浅い海跡湖であり、首都圏に接し、流域の産業や住民の暮らしの影響を強く受ける湖であることを認識し、同様の課題を抱える海外の湖沼問題に取り組む市民や専門家と情報交換し、互いに学びあうことは、「井の中の蛙」の閉塞感を打破し、ブレイクスルー（新展開）を図る上で不可欠といえるでしょう。



ポスター会場で発表（2007年 インド・ジャイプール）



# YOUNG EYES

## 「国際人になるということ」

鹿島学園高等学校 国際交流部 日本語教諭 篠塚友加里



留学生と共に

鹿島学園高等学校は平成21年より、留学生の受け入れを行っています。現在、各国から20名（中国14名、韓国4名、台湾1名、オーストラリア1名）の留学生が在籍しています。かれらは日本人学生と同じ学年・クラスに入り、日本人学生とともに授業を受けています。かれらが日本人学生と同様の生活を送るメリットは、生活の中で生の日本語を習得することができること、言語はもとより文化や習慣が異なる環境の中で生きる術を身につけることができること、言語が自由に使えない他者とのコミュニケーションのあり方を学ぶことができることです。親元を離れ、異国で生活する留学生の姿は日本人学生にとっても大きな刺激となっています。何々人であるという垣根を越えて、自然と異文化理解、異文化交流を行っています。

また、留学生の卒業要項として、日本語能力試験（日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験）一級取得を挙げており、かれらは日々勉学に励んでいます。

国際交流部の日本語教諭2名は、4月15日、北京市教育委員会主催の国際文化フォーラムに参加しました。これは、日本の教育関係者に北京の教育事情、北京の大学の留学生受け入れ体制について紹介するとともに、中国の教育機関関係者が日本

の教育事情を学び、日中の教育関係者間の意見交換を行うことにより、日中間の教育交流の発展に繋げることが目的です。北京市にある11大学、8中学校、2小学校と実施機関を合わせて、計22機関から38名の校長、国際交流担当、教師が参加しました。今後世界各国の教育機関と我が校との国際交流が益々発展し、学生間の行き来も盛んになることで、未来を担う若者たちがグローバルな視点を持つてくれることを願っています。

最後に留学生の声です。

**陳（台湾出身）**「日本人学生と同じクラスに所属しているので、日本人の友達がたくさんできました。毎日一緒に昼食を食べています。」

**ナム（韓国出身）**「サッカー部に所属しています。日本に来たばかりの時は何もわからなかったけれど、今は先生や友達の言っている言葉が少しずつわかるようになって日本語の勉強が楽しいです。」

**賀（中国出身）**「高校を卒業したらファッションについて学べる大学に進学したいと思っています。将来世界で活躍するデザイナーになるために、まずは日本語の勉強を頑張ります。」

## ACROSS CULTURE

おかしくはない、  
ただ違っている  
だけなんだ。



インドネシア  
VS 日本

ほとんどの日本人はバリ島を知っていると思いますが、バリ島はインドネシアにあることが知らない日本人も結構います。インドネシアには17,000ぐらいの島があり、その一つがバリ島です。バリ島はインドネシアの中でも特に景色や海がきれいで、伝統的な生活が行われています。毎年、多くの日本人が旅行や買い物のためにバリ島に来ます。しかし、日本人がインドネシアに来る目的は旅行だけではなく、ビジネスの場合も多いです。短期滞在、長期滞在と期間はまちまちですが、インドネシアに住んでいる日本人はとてたくさんいます。ですから、日本人と接するチャンスがありますが、インドネシア人と日本人とは同じアジアの人でも習慣に大きな違いがあります。例えば、最近日本人は会社や学校にお弁当を持っていく人達が多いようです。もちろん社員食堂や学生食堂があるところでは、それを利用する人たちもたくさんいます。

そこで、日本人に「何で日本人はお弁当を持っていくんですか」と聞いてみたら、答えは節約や健康のためだと言いました。インドネシア人はお弁当を持っていくのは、お金がないと

思われるから恥ずかしいので、昼ごはんは外で食べる人が多いです。日本人は恥ずかしいという感覚ではなく、節約が志向ですね。すごいですね。

また、ほとんどの日本人は一日に一回シャワーまたはお風呂に入ります。それもお風呂に入る時は家族と同じお湯を使います。しかし、お湯に入る前に体をきれいに洗います。それから、お湯に入って体を温め一日の疲れを取るのだそうです。インドネシア人にはそういうことは考えられないことです。インドネシア人は一日必ず2回シャワーをあびます。しかも、お風呂に入る時に同じお湯を使いません。私は初めて日本に来た時にこういう習慣がいつも気になっていましたが、今は日本人のようにお弁当を作り、お風呂も一日に一回入ります。どんなことでも節約すれば、後あとのためになるではないかと思います。

やはり、習慣の違う中で暮らすことにより、いろいろなことが勉強ができ、その体験を通してお互いを理解し合うことが大切だと思います。「違い」って分かり合えればとても素晴らしいことですね。皆さんはどう思いますか。

## ルッシー ノファリダ リドワン （筑波大学大学院科目履修生）



## Doing Business in Japan 企業人だより



昨年9月にアメリカから来日し、独立行政法人日本原子力研究開発機構で研究員として勤務するエンジェル クリストファーさんにお話を伺いました。



### 日本で、就職を決めた理由は何ですか。また、どんな研究をしていますか。

東日本大震災における原子力発電所の事故に関連したプロジェクトに携わるために来日しました。研究所では、ガンマ線を用いてプルトニウムの量を測定する研究を、地震が起こる以前から進めていましたが、地震の発生により、プルトニウムの新しい測定方法の開発に乗り出しました。私は、以前から日本の文化、言語等に興味が有り日本で仕事をしたいと長年考えていましたので、現在、日本原子力研究開発機構で研究員として働くことに、やりがいを感じています。現在は、7人のグループでプルトニウムの新測定方法の研究に取り組んでいますが、自分の研究が福島県の再建に貢献していることは、とても光栄です。

### アメリカで働いていた時と比べ、日本で働くことはどうですか。

以前は、アメリカのカリフォルニア大学バークレー校で、博士研究員として、原子力工学について学生と研究していました。アメリカと違う点は、日本では、仕事において人とのつながりが大切だという点、自己紹介がどんな時でも必要だという点です。たとえば、アメリカでは研究材料を購入する際、電話をかけて必要なものを言えば購入できますが、業者は私の名前も顔も覚えてはいないでしょう。しかし、日本では、自己紹介から始まります。そのせいもあり、2度目に購入する際には以前に何を購入したか等、業者は私のことを覚えていてくれ

ています。

人とのつながりという点では、日本では、誰か知り合いがいなければコンタクトできないという状況は、多いと思います。その反面、アメリカでは面識がなくても研究者と電話で何時間も話すことは珍しくありません。日本においては、2つの点が大切だと思います。

### 日本人の同僚と接するときと、外国人の同僚と接するとき、接し方に違いがありますか。

接し方には、違いがあると思います。現在、アメリカ人、ドイツ人、インドネシア人のスタッフが共に働いています。日本人の同僚と話す時に気をつけていることは、日本語が正しく使えているかどうか、誤解がないかどうか、敬語をきちんと使っているかどうかです。外国人のスタッフと話す時は、英語なのでリラックスしていますし、自然に会話しています。

### 今後の目標は。

プルトニウムの測定方法を発展させることと、ガンマ線ビームで、新しい研究方法を発見することです。また、この研究所の国際化にも貢献したいです。

### 茨城に住む外国人へのアドバイスを一言お願いします。

あなたの身近にいる日本人と交流してください。そして、日本語を学んでください。少しの日本語でも助けになり、「こんにちは」という日本語での一言が、あなたと日本人の交流を広げるはずです。



## 県だより

### 海外研修を通じて地域リーダーを育成しています

#### 茨城県知事公室女性青少年課

茨城県女性青少年課では、国際的視野と指導力を持った女性や若者の人材育成に取り組んでおり、その一環として「ハーモニーフライト いばらき」と「いばらき若者塾」の2つの海外派遣事業を行っています。

ハーモニーフライトいばらきは、平成23年度に初めて茨城県女性団体連盟への委託方式により事業を実施しました。リーダー1名を含む15名の研修員が国内研修で男女共同参画はもとより、街づくり・教育・福祉といったテーマに基づき日本や茨城県の現状と課題を学んだ後、ノルウェーとデンマークにおいて調査研究を行い、帰国後には、研修の成果を報告書にまとめ、報告会で発表しました。研修員の多くが、未知の分野への挑戦でしたが、講義、グループワーク、国内外における現地調査、報告書の執筆活動、報告会でのプレゼンテーションといった様々な経験を通して新しい自分を発見し、様々な能力を身に付け、それらを活かして、既に新たな活動に参加している方がいます。



ハーモニーフライト

平成23年度のいばらき若者塾は県内の若者10名が国内研修ではリーダーとしての心構えやコミュニケーションスキルなどを学び、海外研修(マレーシア)では、塾生自らが計画をし、現地青年とのディスカッションやホームステイ等を行うなど充実した研修を行

は「多様な考え方をもった異文化に触れることで、自分の資質を高めるということから、研修はとても興味深いテーマばかりで、私の知らない茨城県や海外の事情を学ぶことができた。」また、「泥まみれで行った植樹体験、英語も通じない子どもとゲームで遊んだ時間など、日本では味わえないものを目で手で五感で感じました。」など様々な経験を通して地域の青年リーダーとして多くのことを身につけることができました。



現地青年とのディスカッション

既に、地域の青年団体活動で研修の成果を活かしたり、ボランティアに積極的に進んで取り組んだり、青年団体のリーダーとして活躍するなどそれぞれの立場で活動している塾生がいます。

これらの事業は「新しい公共支援事業」の一環として平成23、24年度の2年間実施しており、研修に参加した方々や、事業を企画運営した団体には、これからの社会の中で「新しい公共」の担い手としての役割が期待されています。平成24年度は今後事業を実施しますが、上記の事業内容に加えて、NPO法人や企業など多様な主体との連携・交流を目指していきます。

女性青少年課では今後も女性や若者に国内外を問わず幅広い視点を身につけていただくための人材育成の事業を実施してまいりますので、皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。





## 事業ボランティア募集

### \* 事業ボランティアを募集します

国際交流協会では当協会が主催する各種事業を通して、私たちとともに国際交流、国際協力活動に携わっていただける方を募集しています。(今回の募集は下記の2事業)詳細は協会ホームページをご覧ください。総務課 郡司までお問い合わせ下さい。皆様のご応募をお待ちしております。

募集事業 ・義援金援助・海外緊急援助街頭キャンペーン  
・外国人による日本語スピーチコンテスト

## 日本語教育アドバイザー派遣について

県内に在住する外国人を支援するために開催されているボランティア日本語教室が、ボランティア講師のレベルアップ研修会や初級教授法養成講座を実施する際、指導者を派遣しボランティア講師の育成を図ります。

■講師の謝金、交通費は、原則協会が負担し、教材費などの実費は主催団体または、受講生が負担するものとします。

■派遣を希望される団体は、派遣申請書を協会までご提出ください。申請書は、当協会ホームページよりダウンロードできます。

申込締切日 平成 24 年 6 月 29 日 (金)

事業実施期間 平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日

## ワールドキャラバン募集のお知らせ

茨城県国際理解教育推進協議会では、平成24年度の実施団体を募集しています。ワールドキャラバンとは、県内に在住の外国人講師を学校や団体のイベントなどに派遣し、母国の紹介をしてもらう国際理解のための派遣事業です。外国人講師の話を聞きながら、一緒に世界の国をキャラバンし、各国の社会や文化への理解を深めます。多くの方々からの申し込みをお待ちしています。

### ■申し込み手続き・申請先

年2回、以下の日程で事務局宛に申請書を提出してください。

①上期(平成24年9月1日～11月30日)実施分:平成24年6月30日締切

②下期(平成24年12月1日～平成25年2月28日)実施分:平成24年9月30日締切

### ■実施要領

実施要領や申請書のダウンロード、過去の実績などの詳細につきましては、当協会HP(ワールドキャラバン<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan>)をご覧ください。

## 当協会の賛助会員を募集しています

当協会の活動を支援してくださる賛助会員を募集しています。会員になっていただくと次のような特典があります。

- 1 協会が発行する機関誌等による情報提供  
機関紙「ふれあい茨城」を年4回送付します(個人・団体共通)
- 2 協会が実施する各種事業の案内(個人・団体共通)  
協会が指定する事業の参加費の減免(個人会員のみ)
- 3 協会が実施する各種サービスの優先利用  
研修室等の早期優先申込等ができます(団体のみ)
- 4 協会が貸出用に備える各種備品等の優先借受け  
早期優先申込等ができます(個人・団体共通)
- 5 税控除の優遇措置(当協会は公益財団法人のため特定公益増進法人であり、税控除の優遇措置が受けられます)(個人・団体共通)
- 6 個人賛助会員証の提示による、協会と提携する会社の指定する商品の代金の一部割引等(個人会員のみ)

\*提携会社及び対象商品、割引内容については、当協会HP(<http://www.ia-ibaraki.or.jp>)をご覧ください。当協会(Tel 029-241-1611 [ia@ia-ibaraki.or.jp](mailto:ia@ia-ibaraki.or.jp))までお問い合わせ下さい。

賛助 会費	個人会員	団体会員
	1口年額 3,000円	1口年額 10,000円

なお、当協会では国際交流活動への寄付も募集しております。(当協会は公益財団法人のため特定公益増進法人であり、税控除の優遇措置が受けられます。)

## 平成24年度茨城県国際交流協会リーディング事業等助成対象事業の募集

当協会は、県内の国際交流協力等の活動を育成・奨励するために、民間団体や市町村国際交流協会等が行う先導的国際交流協力事業等を助成します。

### ①応募できる団体

県内に所在する民間団体で、1年以上の活動実績(新たに日本語講座を開設する団体は1年未満でも可)があり、宗教・政治・営利活動等を目的としない団体又は市町村国際交流協会等

### ②助成対象事業(下記に係る事業でこれまでに協会の助成を受けていない事業)

ア 平成25年3月までに行われる、在住外国人支援・多文化共生・国際交流協力・国際理解・国際交流協力等の人材育成に係る事業等

イ 日本語講座開設に係る教材整備

### ③助成額

上記アの事業については、事業費の2/3以内で10万円を限度。

上記イについては4万円を限度とする日本語教材整備費用。

### ④申込方法

所定の様式で協会事務局まで提出して下さい。

### ⑤募集期間

平成24年5月1日から平成24年7月31日まで

### ⑥対象外となる事業経費

通常の管理経費や自ら負担すべき性格を有する経費、海外渡航経費、食料費等。

### ⑦その他

実施した事業の実績及び成果について報告をいただくことがあります。

詳細についてのお問い合わせは、総務課 須藤までお願いします。

## ホストファミリーを募集しています!

ご家庭で国際交流をしてみませんか。ホームステイを希望する外国からのゲストを温かく受け入れて下さるホストファミリーを募集しています。詳しくは、当協会ホームページ内『多文化共生サポーターバンク』のページをご覧ください。直接お問い合わせ下さい。

なお、今年度の「茨城ふるさとファミリー事業」は9月29日(土)～30日(日)を予定しています。

## 携帯メール配信

当協会では、より確実に、そして手軽に情報を届けられるよう、携帯電話への8言語メール配信情報提供を行っています。希望言語のメールアドレスに空メールを送り登録ください。

英語	eng@ia-ibaraki.org
ポルトガル語	por@ia-ibaraki.org
タガログ語	tgl@ia-ibaraki.org
韓国語	kor@ia-ibaraki.org
中国語	chi@ia-ibaraki.org
タイ語	tha@ia-ibaraki.org
スペイン語	spn@ia-ibaraki.org
インドネシア語	ind@ia-ibaraki.org



## 新着図書情報

旅の指さし会話帳(62) ペルー  
佐々木 直美(著) / 情報センター出版局

世界遺産年報 2012  
(公社)日本ユネスコ協会連盟(編) / 東京書籍

## 新人紹介

はじめまして。4月から総務課に勤務しております須藤友久と申します。明確な目的意識を持って働く協会のスタッフたちに囲まれ、また、長年にわたって交流、協力、支援など、様々な分野で活躍されておられる県民の方々に接し、新鮮な感動とともに、まさに“我以外皆師”の心持ちで毎日を過ごさせていただいております。皆さんどうぞよろしくお願い致します。



須藤 友久



仁平 香織

はじめまして。4月から勤務しております仁平(に だいら)と申します。出身はここ茨城県の東海村です。私の地元茨城県に暮らす外国人・日本人が毎日心地よく過ごせると嬉しいと思い、何かできればとこちらで勤務を始めました。私自身がメキシコやウルグアイなど外国で勉強したり働いたりして暮らしていた時期に、習慣や言葉の違いで困った時がありました。そんな時に現地の方々や同じ日本人に何度も助けられて感謝の気持ちが残り、今回のお仕事を始めました。お役に立てるように良い仕事をしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



茨城県国際交流協会の平成24年度事業計画の概要をお知らせします。在住外国人の方々に積極的に支援するなど多文化共生の実現に向けて、地域住民や行政、企業、市町村協会、民間交流団体等との連携をすすめ、取り組みを強化してまいります。また、将来を展望しながら時代の変化に対応した先導的な事業を実施してまいります。多くの皆様の、ご協力と参加をお待ちしております。各事業の詳しい内容は、今後発行します「ふれあい茨城」紙上や当協会ホームページでご案内いたします。

## 平成24年度事業計画

### 1 多文化共生社会をめざして

#### (1) 外国人への多言語による情報提供【重点化施策】

ホームページや携帯メールによる情報発信、生活ガイドブックや災害時マニュアル等の外国人支援図書を作成し、8言語での情報提供を行うことで、外国人が生活情報を得やすくします。



多言語インフォメーションセンターの取材風景

- ☐ インターネットによる多言語情報提供
- ☐ 多言語インフォメーションセンターの運営
- ☐ 携帯メールによる多言語情報提供
- ☐ 多言語による生活ガイドブックの発行（新規）
- ☐ 多言語による災害時マニュアルの発行（新規）
- ☐ 多言語によるメディカルハンドブックの発行
- ☐ 多言語による外国語対応医療機関リストのホームページへの掲載
- ☐ インターネットコーナーの設置

#### (2) 外国人相談体制の充実【重点化施策】

在県外国人が生活する上での疑問や問題を解決するため、弁護士会などの協力のもと、法律、労働、教育、婚姻など生活全般について年間を通じ相談事業を行います。

- ☐ 外国人相談センターの運営
- ☆市町村等県内の外国人相談担当者を対象に、資質向上と情報交換を目的として研修会を開催します。
- ☐ 外国人のための1日無料弁護士相談の実施

#### (3) 生活支援体制の充実【重点化施策】

外国人が様々なハンディを受けることなく県内で安心して生活できるよう支援体制を整えます。身近に日本語を学習出来るよう地域の日本語教室を支援する一方で、緊急時等における各国語でのサポート体制を整えます。

- ◎多文化共生のためのサポーターバンクの運営
- ☐ 外国人医療の言語サポート
- ☆災害時の対応体制づくり
- ◎日本語ボランティア支援事業
- ☆地域生活アドバイザーの育成（新規）

#### (4) 地域住民と在住外国人の交流促進

地域の住民と外国人が気軽に交流できるような出会いの場を設定し、相互交流の促進を図ります。

- ◇国際交流イベントへの参加
- ◇茨城ふるさとファミリー事業

### 2 国際理解の促進と国際感覚豊かな人づくり

#### (1) 国際交流・協力の情報集積・提供

県民の国際理解を推進するため、国際活動のシンクタンクとして有益な情報を集積提供します。

- ☐ 機関誌「ふれあい茨城」の発行
- ☐ ホームページによる情報提供
- ☐ インターナショナルライブラリーの運営

#### マークのご案内

- ☆…セミナー・講座
- ◇…イベント
- ◎…講師派遣事業
- …情報提供・相談
- …その他

#### (2) 国際理解を推進するための事業実施体制の整備【重点化施策】

留学生や在住外国人及びファシリテーター等国際理解をすすめる人材の発掘育成を図るとともに、教材収集など事業実施体制を整備します。

- ◎茨城県国際理解教育推進協議会の設置
- ◎茨城県留学生親善大使の任命
- ☆国際理解教育研修会の実施
- 国際理解教材収集・貸出しの実施

#### (3) 多文化共生社会のための相互理解と、豊かな国際感覚を涵養する機会の提供【重点化施策】

外国人と地域住民が協力して生活できるよう相互理解を推進するための事業を実施します。また、国際社会への理解を深め、世界で活躍できる国際感覚豊かな人づくりに寄与します。



外国人による日本語スピーチコンテスト

- ◎ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業
- ◇外国人による日本語スピーチコンテスト
- ◇日本発/世界発：青年のメッセージ
- ◇クエスト茨城留学生研修
- ☆世界文化セミナーの開設

### 3 県民主体の国際交流・協力活動の促進

#### (1) 国際交流・協力推進のための人材の発掘と活用

在住外国人や留学生等国際活動の担い手となる人材の発掘登録を促進し、ホームページ上で人材検索が出来るなど、県民の国際活動推進を図ります。

- ☐ 茨城県留学生親善大使や、多文化共生サポーターバンクへの登録を推進し、人材の発掘活用に努めます。
- ◎茨城県国際交流協会事業ボランティアの登録・活用

#### (2) 国際交流・協力実践団体との連携による事業の実施【重点化施策】

県内の国際交流・協力等国際活動を実践する組織団体の情報交換を行い、団体間の連携を促進します。また、当協会の事業を他組織団体と連携することで効果的な実施を図ります。

- ☆国際交流・協力ネットワーク会議の開催
- 連携による国際協力事業の実施

#### (3) 国際交流協力活動実践団体への協力支援

団体等が実施するモデル的先導的な事業を助成し、国際交流・協力実践団体を支援します。また、活動のしやすいよう研修室等の貸出しを行います。

- リーディング事業等助成制度
- ボランティア活動室の運営及び研修室の貸出し

### 4 上海事務所の運営

県内企業の活動支援や中国に関する情報の収集・提供や友好交流活動の支援等を実施します。

